ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。
なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな？と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名（表紙右上表示）、②お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書等を必ずご用意下さい。
③故障、不具合状況によってはご一緒に電話口にて動作確認させていただきますので、製品を近くにご用意ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで
製品サポート情報や、お問い合せについてご覧いただけます。
http://www.tohshoh.jp

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244
FAX 048-997-2082
受付時間　月～金　9:30～17:30　休業日　土･日･祝日

cs@tohshoh.jp
株式会社とうしょう　カスタマーサービス
〒340-0802　埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1

保　証　書

※お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書を添付し大切に保管ください。

品 名	木目調ダブルカセットダビングレコーダー	型番:TCD-389WB
お客様	お名前	ご住所 電話番号　（　　）
お買上げ日 年　月　日		取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間 （お買上げ日より）	本体1年 （但し消耗品は除く）	

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
   ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
   ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
   ④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
   ⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
   ⑥本書のご提示がない場合。
   ⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＜製品部品の保有期間＞　部品の保有期間は製品製造終了から6年間です。
※一年間は無料修理を行います。但し、お買い上げより一ケ月間が過ぎてからの修理依頼に関して、弊社への送料はお客様ご負担にてお願いします。尚、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。

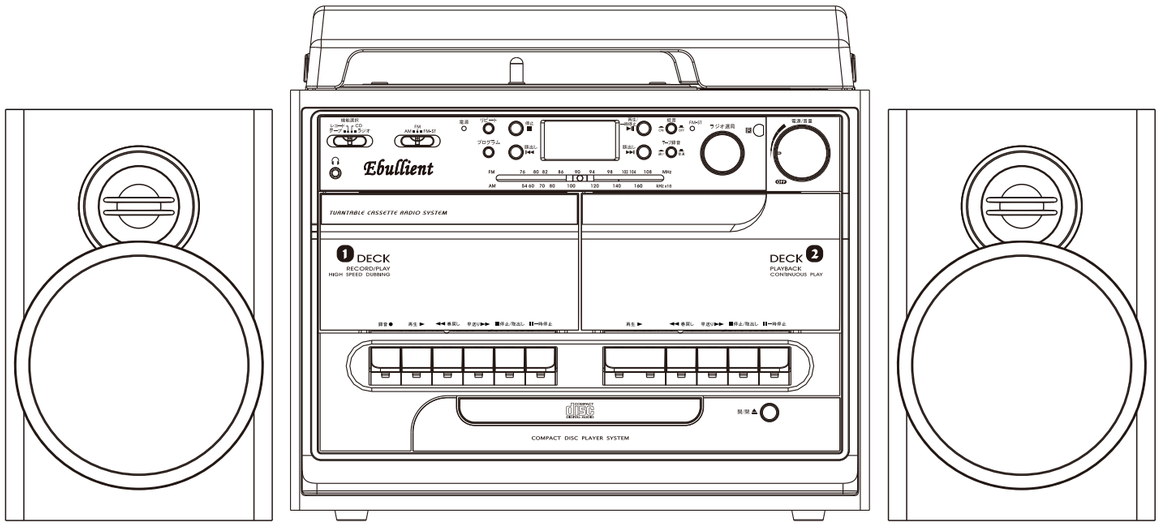
取扱説明書

型番:TCD-389WB

木目調ダブルカセット ダビングレコーダー

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



輸入元：株式会社とうしょう
住　所：〒340−0802　埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442−1
カスタマサポート：048−997−2244

目次

目次／仕様……2
安全上の注意……3
各部の機能と付属品……4
リモコンの各部名称と機能……5
電池の交換方法……5
Wカセットプレーヤーの使い方……6
テープからテープへのダビング録音方法…7
ＣＤの再生方法 ／ ＣＤのプログラム ／ ＣＤのリピート再生方法 ……8.9
ＣＤからテープへのダビング録音方法…10.11
レコードからテープへの録音方法……12.13
レコードプレーヤーの再生方法……14
ラジオの聴き方……15
外部出力端子の接続……16
ヘッドホンの使用方法……16
日常のお手入れ……17
レコード針の交換（別売品）……17
こんなときは／故障かな？と思ったら……18
お問合せ／修理について……19
保証書／ご相談窓口

仕様

❖レコードプレーヤー
モーター：ＤＣ方式
駆動方式：ベルトドライブ
回転数：33 3/1 45 78rpm
信号雑音率：25db
針 ： サファイア（中国製）

❖ラジオ
ＦＭ：76.0 ～ 108MHz
ＡＭ：54.0 ～ 1600KHz
周波数特性：80Hz ～ 3.5KHz

❖電力
ＡＣ100Ｖ 50 ／ 60Hz
消費電力：20W

❖ＣＤ
作動方式：モーター
再生専用（録音機能無）

❖カセット
ＤＥＣＫ１：再生／録音
ＤＥＣＫ２：再生専用

❖サイズ
本体：幅 31.8ｘ奥行 29.0ｘ高さ 28.6ｃｍ
スピーカー：幅 14.5ｘ奥行 14.5ｘ高さ 22.6cm（１個）

❖出力
２Ｗｘ２Ｗ / インピーダンス４Ω

❖端子
出力端子：（背面）ピンジャック６mm端子／イヤホン端子：（表面）3.5mm

お問合せ／修理について

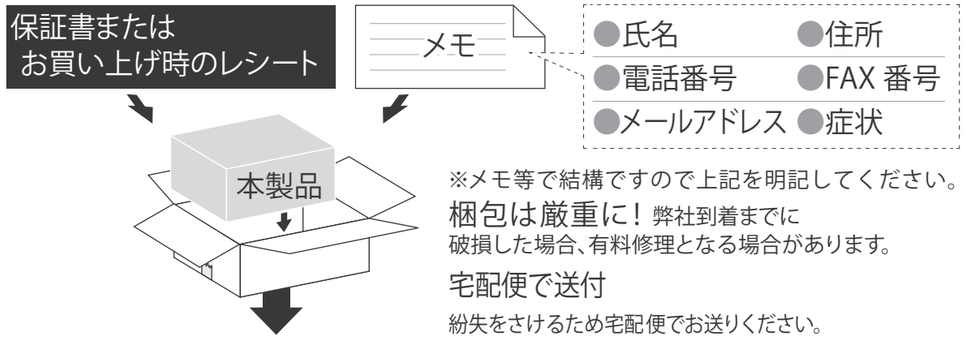
お問い合わせいただく前に、以下をご確認ください

❖ 故障かなと思ったらP.18 を
参照し操作を再度ご確認願います

それでも解決できない場合は、カスタマサポートへ
電話：048-997-2244 ※ご自宅への訪問対応は行っておりませんません
※受付時間 9：30～17：00 月～日曜日（年末年始・夏期休業期間 をのぞく）
FAX：048-997-2082 メール： cs@tohshoh.jp

< ご用意いただく情報 >
・弊社製品名、型番、ご購入店、ご購入日、トラブルの起こった状態、トラブルの内容
現在の状態。エラー表示等。
・ご一緒に操作をしていただく場合がありますので本機をご用意ください。

修理を依頼される場合は、必ずカスタマサポートにご連絡の上、以下の要領でお送りください。
※勝手に送付されると対応できず返品されることがあります。



※メモ等で結構ですので上記を明記してください。
梱包は厳重に！ 弊社到着までに
破損した場合、有料修理となる場合があります。
宅配便で送付
紛失をさけるため宅配便でお送りください。

〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1
株式会社とうしょう カスタマサポート修理 宛

●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
●弊社検品時に絡まったテープやＣＤトレイが開かない場合でのＣＤが原因の場合、厳密な検査上取り外してご返却できない場合があります。
何卒ご了承ください。※返却が必要な場合は必ずご連絡をお願いいたします。

こんなときは／故障かな?と思ったら

●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症　状		ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか? ●ヘッドホンをジャックに差したままになっていませんか? ●外部出力端子に接続されていませんか？
リモコン	リモコンが 使えない	●本体の電源はONになっていますか? ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか? ●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?（約2m以内） ●リモコンの電池は正しい向きに入っていますか? ●リモコンの電池が消耗していませんか?
CD	再生できない 音が出ない	●切替スイッチをCDに選択しましたか？ ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか? ●CDの再生面が汚れていませんか?やわらかい布などでふいてください。 ●DVD／ＰＣで作成したMP3方式ＣＤが入っていませんか？
レコード プレーヤー	ターンテーブル が回らない 音が出ない	●切替スイッチをレコードに選択しましたか？ ●針の保護カバー（白いカバー）を外しましたか？ ●赤い針先を外していませんか？　※交換時以外は外さないでください
カセットテープ	テープが 入らない 回らない 録音が できない	●テープは正しく録音さたものですか? ●切替スイッチをテープに選択しましたか？ ●テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか? ●テープの「ツメ」が折れていませんか？
ラジオ	音が出ない 雑音が入る	●切替スイッチをAM/FM（ラジオ）に選択しましたか？ ●お聴きになりたい番組の周波数は合っていますか? ●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。（FM受信時） ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。（AM受信時）

安全上の注意

絵表示について　この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
⚠	△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

●本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。
また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）

⚠ 注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。

●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

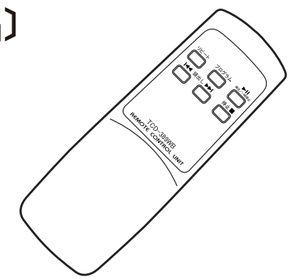
各部の機能と付属品

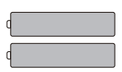
前 面

ディスプレー部
ラジオ選局ツマミ
ラジオ切替スイッチ
レコードプレーヤー
機能切替スイッチ
電源 / 音量ツマミ
スピーカー
カセット挿入口
CD挿入トレー
カセット操作部
CD取出ボタン

電源 / 音量ツマミ
ツマミを回転させることで電源がON/OFFになります
FMアンテナ線
スピーカー端子
電源プラグ
AC100V コンセントへ
外部出力端子

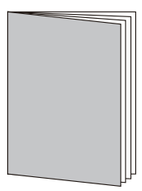
〔付属品〕


リモコン


テスト用単四乾電池 × 2

EP（ドーナツ盤）用アダプター

ＥＰ盤用アダプターはターンテーブル上部にセットされています


取扱説明書

日常のお手入れ

⚠ 注意

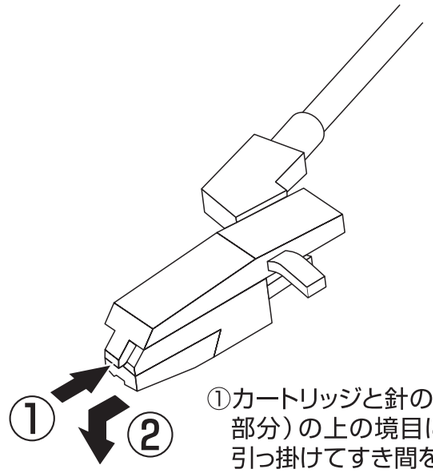
●高温多湿の場所に設置しないでください

正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

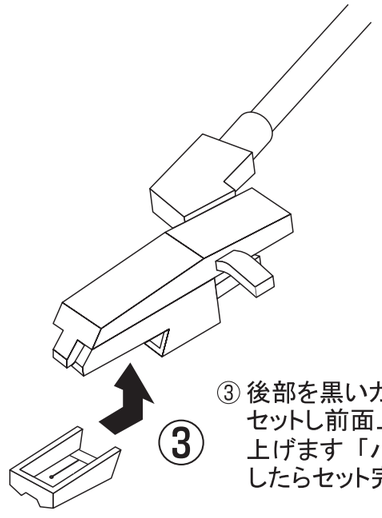
●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行なってください。
研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

レコード針の交換（別売品）



①カートリッジと針の部分（赤い部分）の上の境目に指の爪を引っ掛けてすき間を作ります。
②前面にスライドさせ外します。

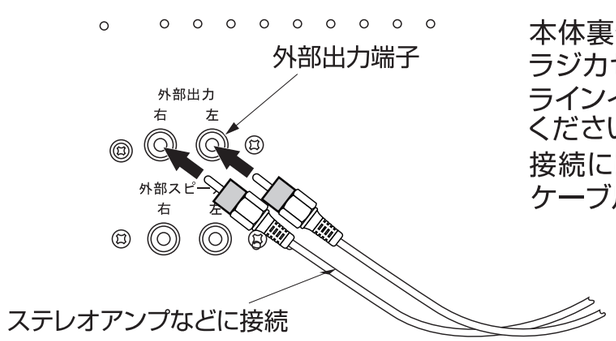


③ 後部を黒いカートリッチにセットし前面上部に軽く押し上げます「パチン」と音がしたらセット完了です。

注 意

●レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分注意してください。
●針先の耐久時間は、約100時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。

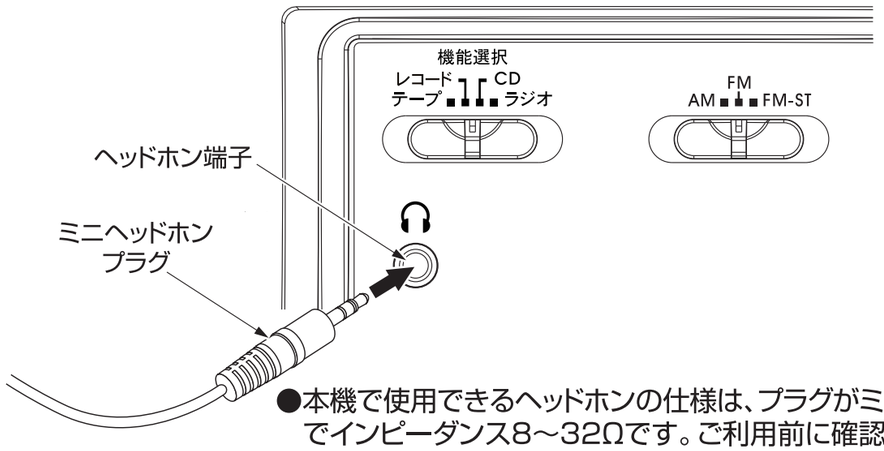
外部出力端子の接続



本体裏側にある外部出力端子を利用してラジカセやお手持ちのステレオアンプのラインイン（入力）端子に接続してご利用ください。
接続には市販のステレオ用ピンジャック付ケーブルをご用意ください。

※接続するプレーヤーの出力が8W未満にしてください。
本体やお持ちの製品がショートする恐れがあります
十分気を付けてください。
※外部出力端子にスピーカーをつなげても音声はでませんご注意ください。

ヘッドホンの使用方法



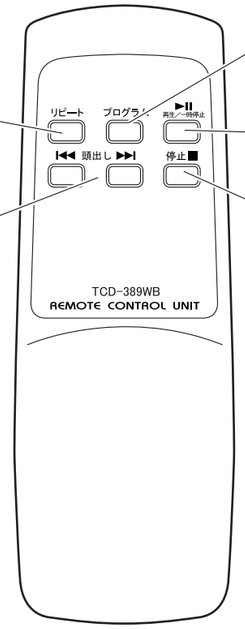
●本機で使用できるヘッドホンの仕様は、プラグがミニタイプ（φ3.5mm）でインピーダンス8～32Ωです。ご利用前に確認してください。
●ヘッドホンのプラグを本機前面の「ヘッドホン端子」に差し込みます。ヘッドホンを使用の時は、左右のスピーカーは自動的に聞こえない状態になります。ヘッドホンの音量はボリュームツマミで適切な大きさに調整して聞いてください。

リモコンの各部名称と機能

本体操作リモコン

・リピートボタン
１回押すと再生曲を１回繰返し再生します
２回押すと全曲繰り返し再生します

・頭出しボタン
前の曲 / 次の曲を選曲できます。押した回数だけ進みます



・プログラムボタン
ＣＤの再生を選択設定できます

・再生・一時停止
ＣＤの再生 / 一時停止します

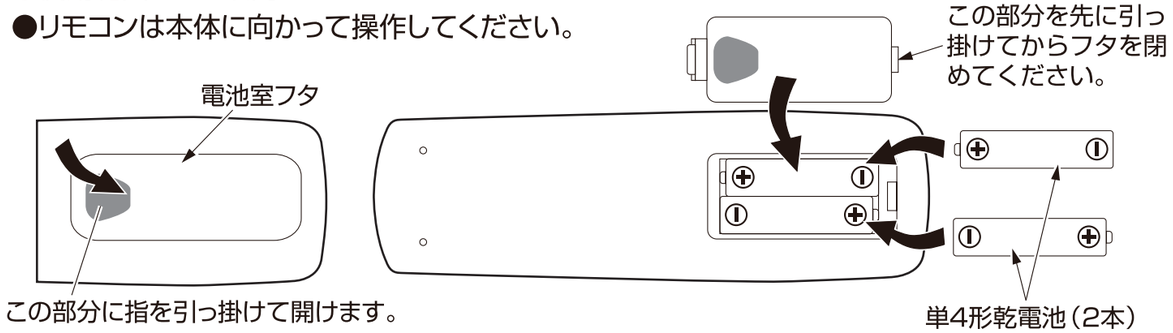
・停止ボタン
ＣＤの再生を停止します

※ＣＤのみ適応します

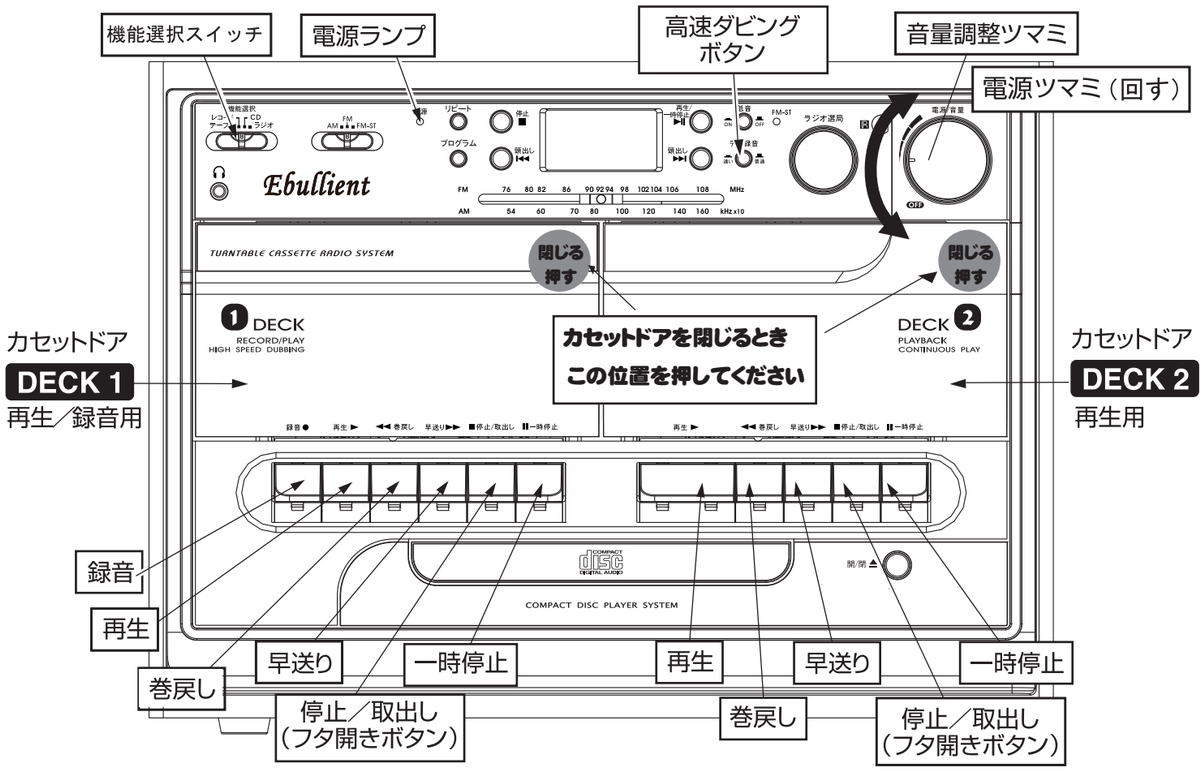
電池の交換方法

●電池の交換方法（入れかた）

●2本の電池（単4電池）を入れ、フタを閉めてください。リモコンの操作がしにくくなったら、新しい電池に交換してください。＋と－の向きを正しく入れてください。付属乾電池は機能テスト用電池です。
●使用範囲は2m以内です。
●リモコンは本体に向かって操作してください。



Wカセットプレーヤーの使い方

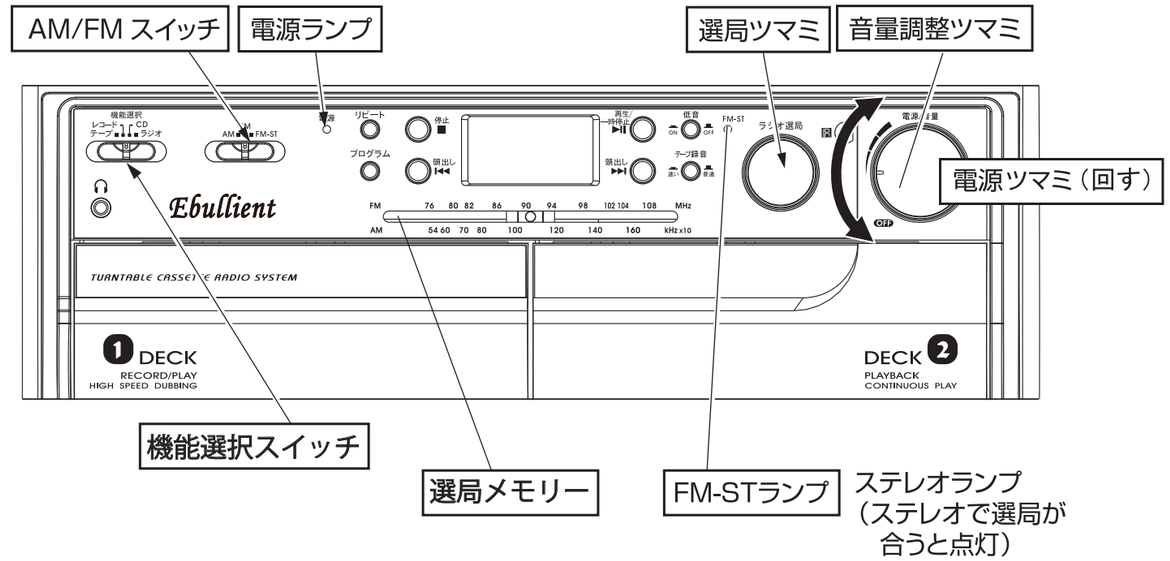


テープの再生方法

※電源を入れる前に本体背面にスピーカーを接続します。
（外部出力はアンプ接続時に使用する端子です。ここにスピーカーをつないでも音は出ません）

①電源プラグにコンセントを差込み電源ツマミを回し電源を入れます。電源ランプ「赤」点灯します。
（ディスプレイはつきません）
②機能選択スイッチをテープに合わせます
③DECK1,DECK2 の停止／取出ボタンを押し、カセットドアを開けます。「ゆっくり開きますので」
無理やり開けようとしないでください。カセットテープを正しい位置にセットし、カセットドア
を指で閉めます。
（閉じるときの押す位置は図を参照ください。）
④「再生」ボタンを押します。（スピーカーから曲が流れます）
⑤音量調節ツマミを回しお好みの音量に調節しお聴きください。
⑥「巻戻し」ボタンはテープが速く戻り、「早送り」ボタンはテープが速く送ることができます。
⑦「一時停止」ボタンを押すとテープが一旦止まり、もう一度押すと再び再生します。

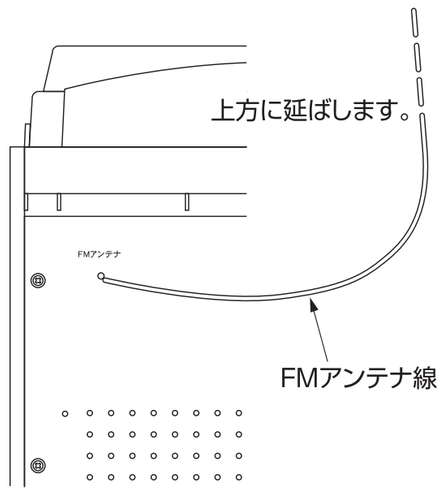
ラジオの聴き方



① 前面パネルのスイッチを回転させ電源を入れます。電源ランプ「赤」が点灯します。
②「AM／FM」スイッチをラジオを選択します。AMまたはFMに合わせます。（ディスプレイはつきません）
③「選局ツマミ」を回して、お聴きになりたいラジオ局（周波数）に合わせます。
④FMステレオ放送を聞く場合は「FMモードスイッチ」を「ステレオ」にしてください。選曲されると
FMステレオ表示ランプが点灯します。FM電波が弱く、雑音が発生した場合はモノラル側を選択す
ると、雑音が改善される場合があります。モノラル側ではFMステレオ表示ランプは点灯しません。
⑤音量調整ツマミを回し、お好みの音量でお聴きください。

●外部FMアンテナの取付け

「FMアンテナ線」は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けてください。
電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。



●AM放送を聴く時の注意

AMの電波は高い建物の影や鉄筋コンクリートのマンション内など、電波を受信しにくい場所があります。
本機の置き場所や向きを変え、電波を受信しやすい状態にしてお使いください。

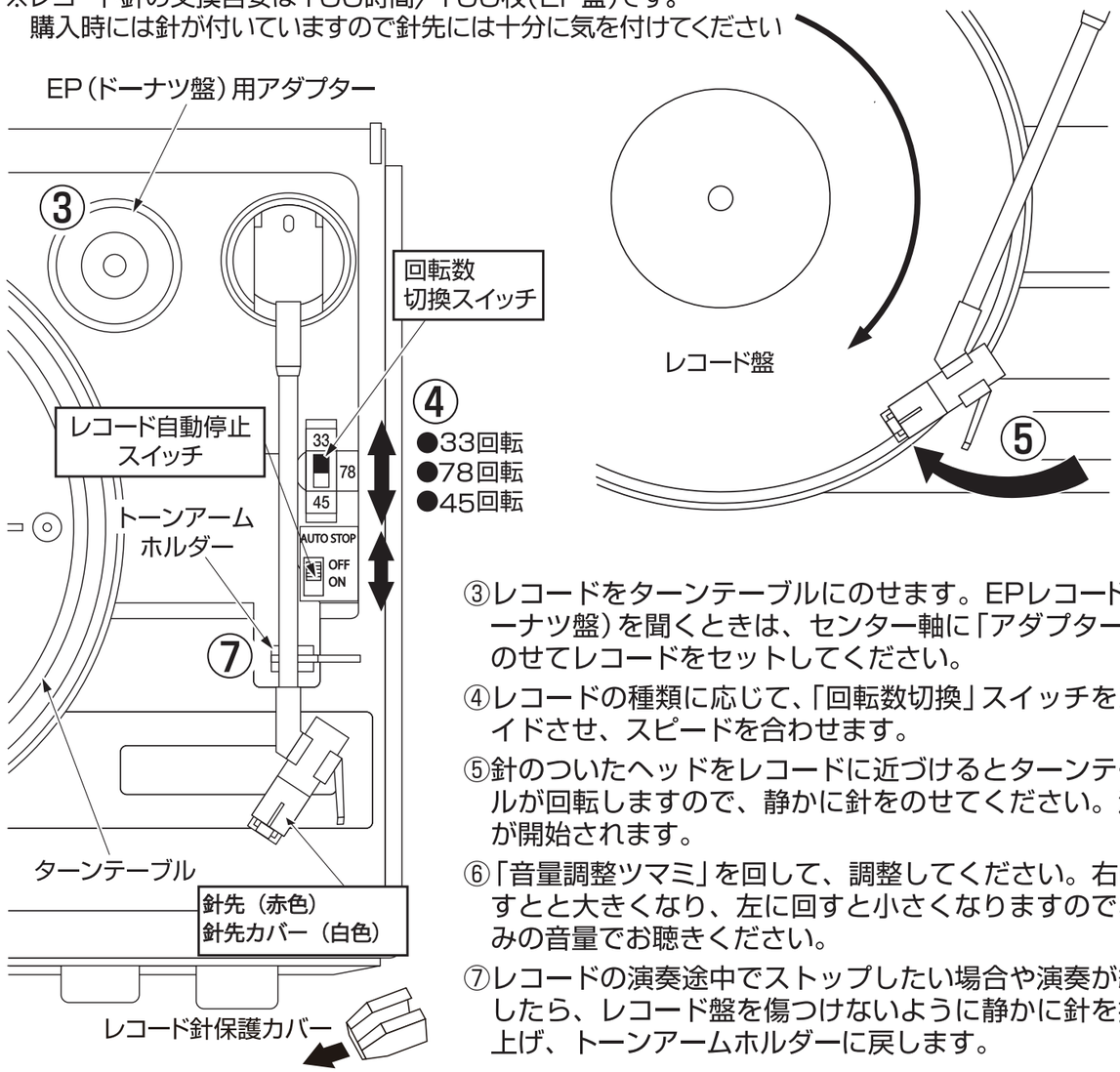
レコードプレーヤーの再生方法

※電源を入れる前に本体背面にスピーカーを接続します。
（外部出力はアンプ接続時に使用する端子です。ここにスピーカーをつないでも音は出ません）

①電源プラグにコンセントを差込み、本体電源ツマミを回し電源をいれます。（ディスプレイはつきません）
②機能選択スイッチでレコードに合わせます。
※レコードをのせる前に・・・アーム先端に針先（赤色）の白いカバーが付いております、使用後には保護のために保管してください。また交換以外は針先（赤色）を外さないでください。

通常の使用には、レコード自動停止スイッチを「入」側にしてください。
演奏が終わるとターンテーブルは自動に止まります。
しかし、EP（ドーナツ盤）や、SP盤を聴くときは、レコード盤の種類により、途中でレコードが止まることがありますので、レコード自動停止スイッチは「OFF」側でご使用ください 。

※レコード針の交換目安は100時間／100枚（LP盤）です。
購入時には針が付いていますので針先には十分に気を付けてください



③レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード（ドーナツ盤）を聞くときは、センター軸に「アダプター」をのせてレコードをセットしてください。

④レコードの種類に応じて、「回転数切換」スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。

⑤針のついたヘッドをレコードに近づけるとターンテーブルが回転しますので、静かに針をのせてください。演奏が開始されます。

⑥「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すとと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。

⑦レコードの演奏途中でストップしたい場合や演奏が終了したら、レコード盤を傷つけないように静かに針を持ち上げ、トーンアームホルダーに戻します。

テープからテープへのダビング録音方法

①録音してないテープ（録音用）を「DECK1」に入れ「一時停止」ボタンを押します。次に「録音」ボタンと「再生」ボタンを同時に押します。
②「DECK2」に録音されているダビングするテープ（再生用）を入れ「再生」ボタンを押します。
③「DECK1」の 一時停止が解除されダビング録音が開始されます。
④「DECK1」「DECK2」の「停止／取出し」ボタンを押すとダビング録音が終了します。
※ダビングを高速で行うことができます。「高速ダビング」ボタンを「速い」ポジションにしてください。（ボタンが押された状態）普通ピードの約2～3倍で高速ダビングができます。録音失敗の原因になりますので、高速ダビング中に「高速ダビング」ボタンを操作しないでください。
※音を聴きながらダビングするときは、普通スピード「普通」でダビングしてください。

連続再生方法

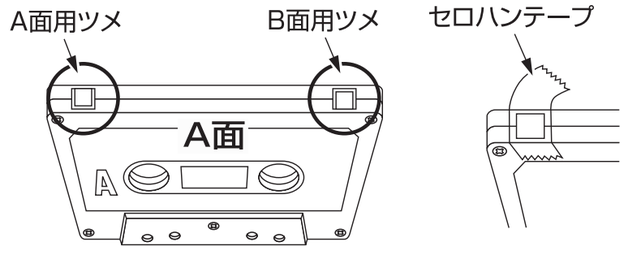
●「DECK2」から「DECK1」への連続再生ができます。
①「DECK2」の「一時停止」ボタンと「再生」ボタンを同時に押します。
②「DECK1」の「一時停止」ボタンと「再生」ボタンを同時に押します。
③「DECK2」の「一時停止」ボタンを解除（押す）すると、「DECK2」が再生され、終了すると「DECK1」への連続再生が始まります。
④「DECK1」の再生が終了すると自動的に停止します。

●カセットテープの取り扱いについて

●使う前にテープをチェックしてください。ゆるんでいるとからまることがあるので、片方の穴に鉛筆などを入れ、軽く巻きとり、ゆるみをなくしてから使用してください。
●使用するテープは、C-30、C-60、タイプを使用してください。C-90 C-120タイプはテープが薄く、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。
●45分／60分テープの場合でも経年劣化している場合も同様です十分ご注意ください。
●性能維持するため、定期的にヘッドとゴムローラーの清掃をしてください。テープの酸化物やホコリなどが表面に付き、音質が悪くなったり、回転むらが起こったりします。専用のクリーナーでヘッドの表面、ゴムローラーの汚れを丁寧に拭き取ってください。

●誤消去防止ツメについて

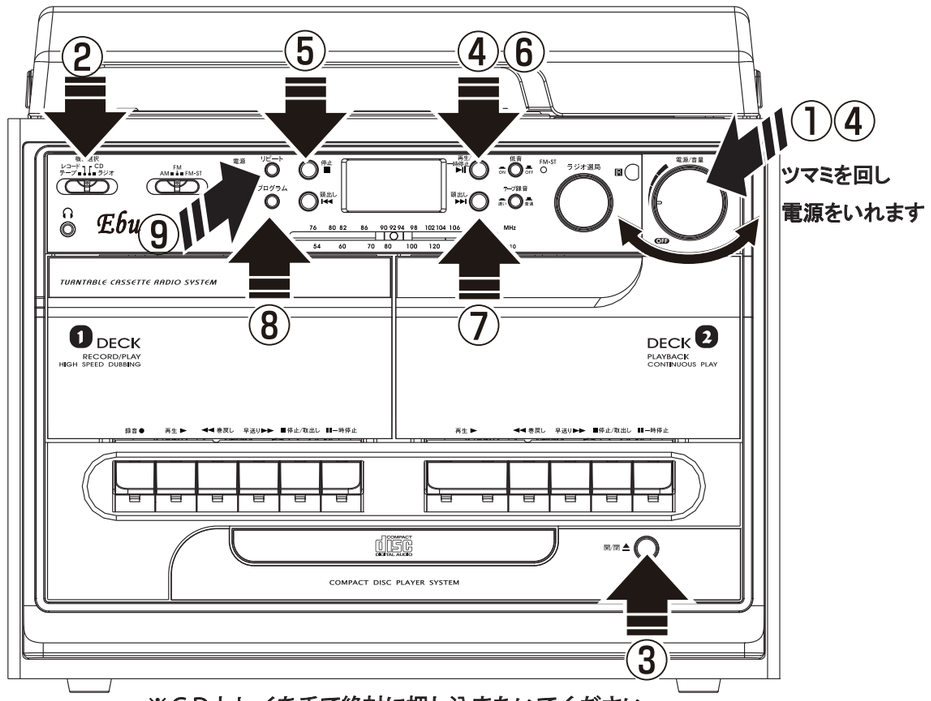
誤消去防止ツメが折れていると録音ができませんので確認してください。ツメが折れている時は、セロハンテープなどで穴をふさいでください。



CDの再生方法

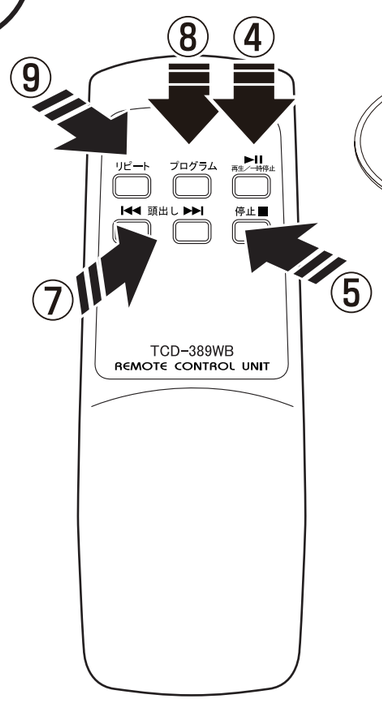
本体操作

※電源を入れる前に本体背面にスピーカーを接続します。
（外部出力はアンプ接続時に使用する端子です。ここにスピーカーをつないでも音は出ません）

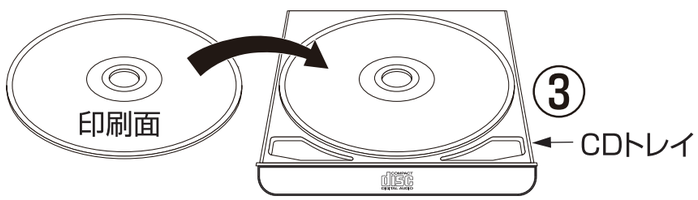


※ＣＤトレイを手で絶対に押し込まないでください。

リモコン操作

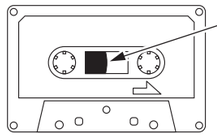


❖ CDのセット方法



このプレーヤーはDVDの使用はできません。セット時に必ず、印刷面やご購入時のパッケージを確認してください。読取部の不具合 / 故障の原因になります。
また、市販CDでも傷、汚れ、指紋などを拭き取ってからセットしてください。
※CDトレイが開かなくなった場合は一旦、電源を切りコンセントも抜き数時間放置し再度試してください。
※MP3方式CDは使用できません。

レコードからテープへの録音方法

	操作方法	詳細説明
①	**電源ツマミを回し電源を入れ機能選択スイッチをレコードに合わせます**	電源ランプ「赤」が点灯 （ディスプレイはつきません）
②	お好みのレコードをターンテーブルにセットします	レコードプレーヤー再生方法をご参照ください　（LP.EP.SP 盤）　P.14
③	カセットDECK１の停止/取出しボタンを押し、録音用のカセットテープをセットし、フタを手で押し閉じます	セットするテープの向きに注意　挿入方向 ⇩  テープ残量表示（左側に）
④	カセットDECK１の録音と再生ボタンを一緒に押します	録音されるテープがスタートします。 ９０分以上のテープは使用にならないでください。 絡みや切れる原因になります。
⑤	レコードに針をゆっくりとのせます。	スピーカーより音が流れます 録音中です
⑥	レコードのＡ面からＢ面へ録音する場合場合 Ａ面だけの場合は⑦へ	レコードのＡ面終了時にテープの一時停止ボタンを押し録音を一時的に停止します。レコードをＢ面（裏面）または、別のレコードに変えます。セットが終わったら再度一時停止ボタンを押し録音を再開します。 次に、レコードに針をのせます。　音声が流れます。
⑦	曲が終わりましたらカセットDECK１の停止/取出しボタンを押し録音を停止します	針をアームホルダーに戻します。 ※機能選択スイッチでカセットに合わせカセット DECK1のテープに録音した曲が入っているか確認します。

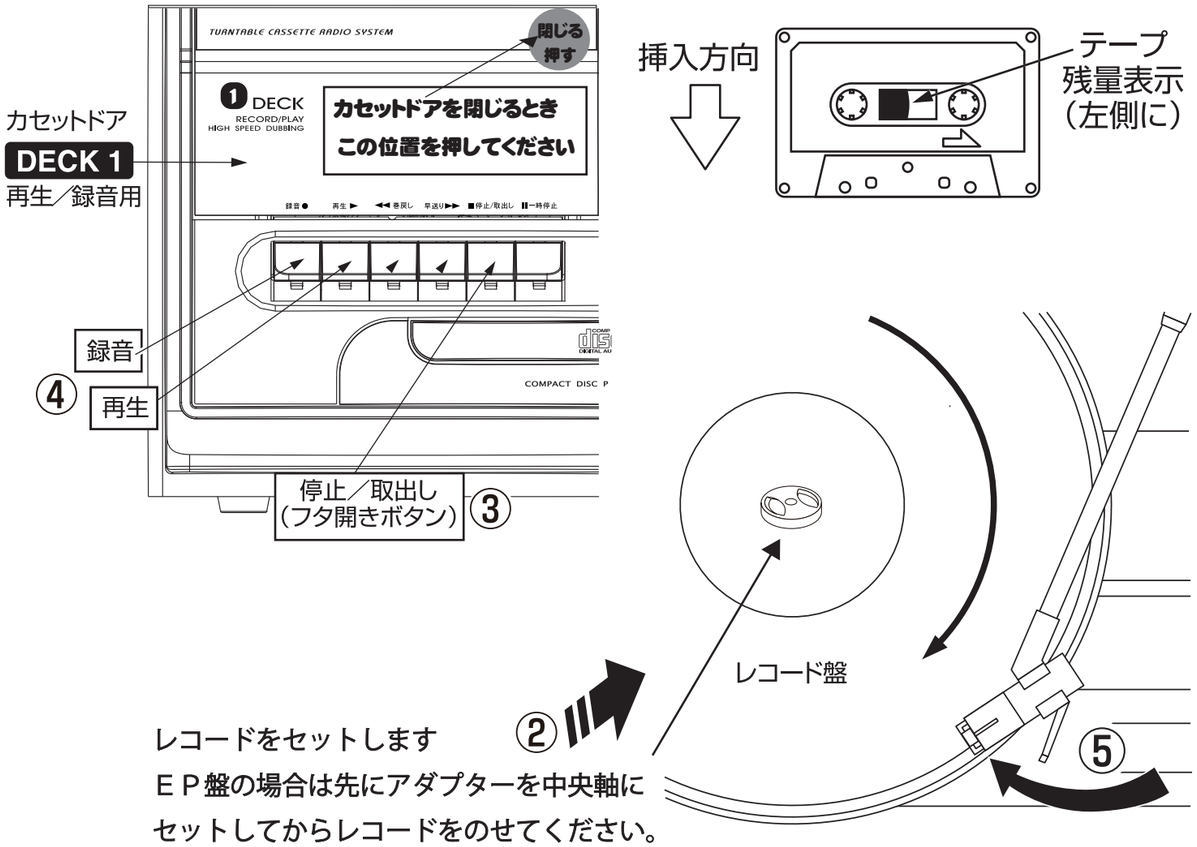
レコードからテープへの録音方法

※電源を入れる前に本体背面にスピーカーを接続します。
（外部出力はアンプ接続時に使用する端子です。ここにスピーカーをつないでも音は出ません）

※注意

レコードをのせる前に・・・アーム先端に針先（赤色）の白いカバーが付いております、
使用後には保護のために保管してください。また交換以外は針先（赤色）を外さないでください。

通常の使用には、レコード自動停止スイッチを「入」側にしてください。
演奏が終わるとターンテーブルは自動に止まります。
しかし、EP（ドーナツ盤）や、SP盤を聴くときは、レコード盤の種類により、
途中でレコードが止まることがありますので、レコード自動停止スイッチ
は「OFF」側でご使用ください 。



CDの再生方法

	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
①	電源プラグにコンセントを差込み電源ツマミを回し電源を入れます		
②	機能選択スイッチをCDに合わせます	CD No	ディスプレイが青色に点灯し、「No表示」がでます「CDが入っていない」意味です
③	CD開閉しボタンを押し、CDをセットします	CD OP	キラキラ光っている面を下にセットします、 開閉ボタンを押し閉ます
④	セットしたCDの曲数が表示されたら再生ボタンを押します	▶CD 01	ＣＤによっては自動再生します スピーカーから曲が流れますお好みの音量に調節します
⑤	再生が終了するには停止ボタンを押します	CD 05	
⑥	再生を一時的に止める場合は再生／一時停止ボタンを押します		再生を一時停止します、 もう一度 ボタンを押すと再生（再開）します
⑦	前の曲、 次の曲にする場合は頭出しボタンを押します		押した回数分、 前後に進みます

CDのプログラム再生方法

⑧	自動再生する為、CDセット後に停止ボタンを押します。プログラムボタンを押します。	CD PROGRAM P01	左記プログラムが点滅表示します 数十秒で消えますので操作は点滅中に行います
	再生したい曲番に頭出しボタンで選択し再度プログラムボタンを押します	CD PROGRAM P02	この操作を繰り返しプログラム選曲します最大２０曲可能です

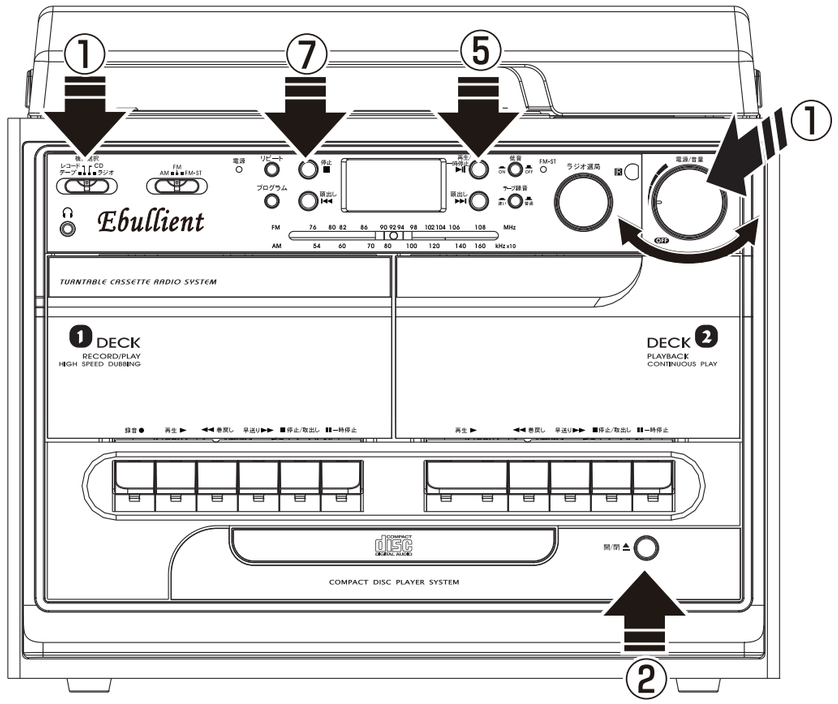
CDのリピート再生方法

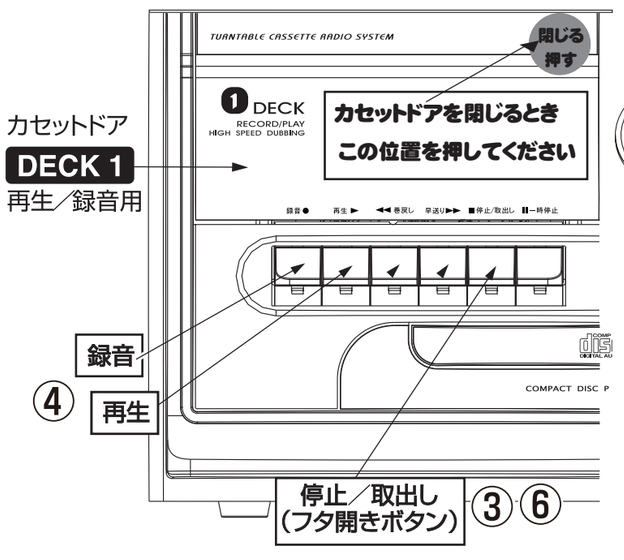
⑨	ＣＤセット後にリピートボタンを押します（ディスプレイ参照）	REP	一曲のみ繰返し再生
		REP	全曲繰返し再生
		RAN	ランダムに再生します

CDからテープへのダビング録音方法

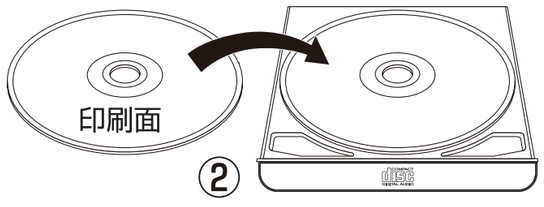
本体
操作

※電源を入れる前に本体背面にスピーカーを接続します。
（外部出力はアンプ接続時に使用する端子です。ここにスピーカーをつないでも音は出ません）





❖ CDのセット方法



CDからテープへのダビング録音方法

	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ツマミを回し電源を入れ機能選択スイッチを CD に合わせます	CD ▶ 青色に光ります	電源ランプ「赤」が点灯
②	CDの開/閉ボタンを押しトレーが出ましたら音楽CDをセットし、開/閉ボタンを押し、トレーを閉じます	CD 05	※絶対にトレーを指で押込まないでください。音楽ＣＤが認識されると曲数が表示(自動再生される場合あり)自動再生した場合は停止ボタンを押しＣＤを止ます。（例：5 曲入り）
③	カセットDECK１の停止/取出しボタンを押し、録音用のカセットテープをセットし、フタを手で押し閉じます	CD 05	セットするテープの向きに注意 挿入方向 テープ残量表示（左側に）
④	カセットDECK１の録音と再生ボタンを一緒に押します	CD 05	録音されるテープがスタートします。９０分以上のテープは使用にならないでください。絡みや切れる原因になります。
⑤	ＣＤの再生 / 一時停止ボタンを押しＣＤを再生します。	▶ CD 01	スピーカーより音が流れます 録音中です
⑥	曲が終わりましたらカセットDECK１の停止/取出しボタンを押し録音を停止します	CD	B 面にも録音する場合はCD再生 / 一時停止ボタンでCD再生を一時停止しカセットを取出し裏面（B 面）し再度④～操作を繰返します。
⑦	CDの停止ボタンを押し音楽CDの再生を停止します	CD 05	カセットテープ停止ボタンで録音を停止します。※機能選択スイッチでカセットに合わせカセット DECK1 のテープに録音した曲が入っているか確認します。